

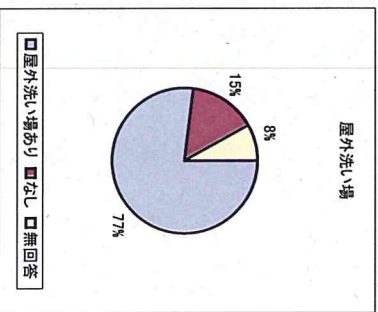
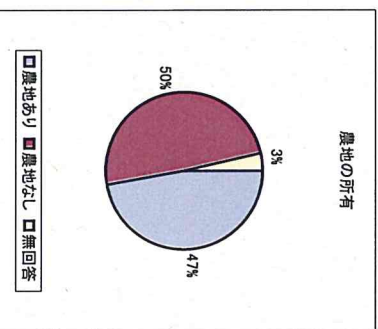
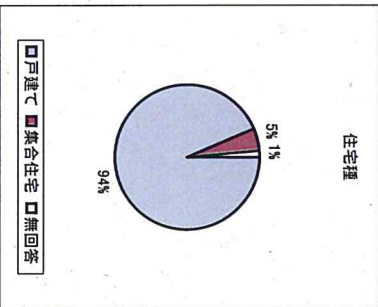
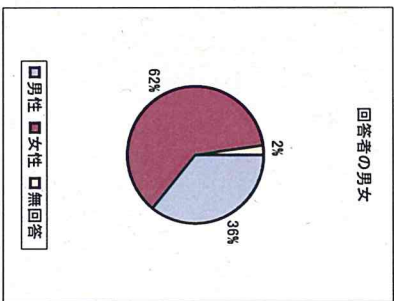
回答率	
發送数	904
回収数	405
中の無いもの	4
実回収率	44.4%

問1 回答者の男女別	
男性	144
女性	248
無回答	9
	401

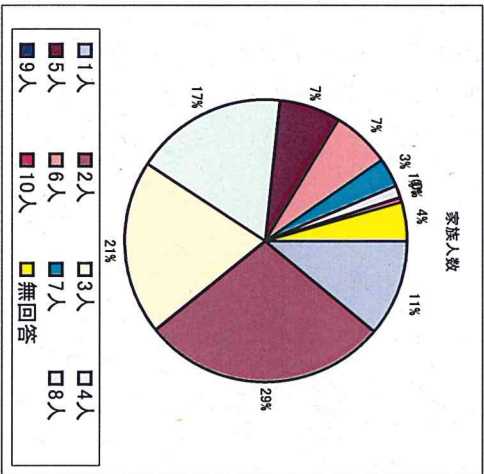
問1 住居種	
戸建て	375
集合住宅	20
無回答	6
	401

問1 農地の有無	
農地あり	189
農地なし	198
無回答	14
	401

屋外洗いの有無	
屋外洗い場あり	308
なし	61
無回答	32
	401

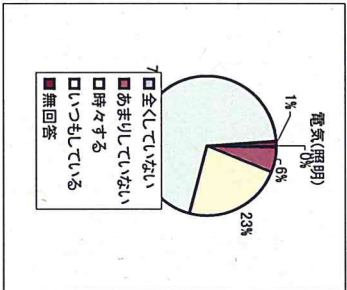


問1 世帯の人数	
人数	
No.1を回答	44
No.2を回答	113
No.3を回答	80
No.4を回答	70
No.5を回答	28
No.6を回答	27
No.7を回答	13
No.8を回答	6
No.9を回答	0
No.10を回答	2
無回答	18
回答者数	401
人数計	1251

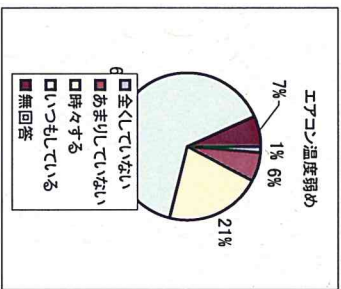


※ 農地を所有していない世帯が約半数を占める地域であった。
※ 屋外での洗い場を77%の世帯が持っていた。
※ 電気の節約を、ほとんどの家庭が意識している。
※ エアコンの使用についても同様である。
※ ほとんどの家庭が詰め替え商品などを、意識して購入している。
※ 88%以上の世帯がリサイクルの意識を持っている。
※ エコバックを「いつも使う」「時々使う」を合わせて256件で64%程度である。
※ 再生紙など、環境にやさしい商品の購入は、「いつもしている」「時々している」をあわせて284件で、約72%である。

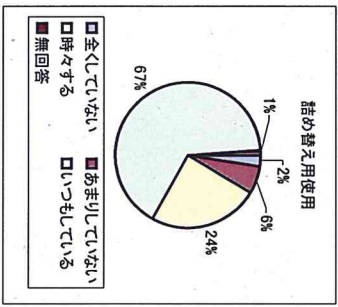
問2 電気の節約	
全くしていない	1
あまりしていない	23
時々する	93
いつもしている	280
無回答	4
	401



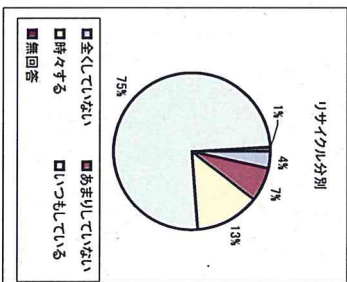
問2 エアコンの節約	
全くしていない	6
あまりしていない	25
時々する	85
いつもしている	258
無回答	27
	401



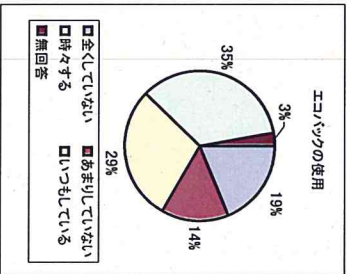
問2 詰め替え商品の使用	
全くしていない	10
あまりしていない	25
時々する	98
いつもしている	263
無回答	5
	401



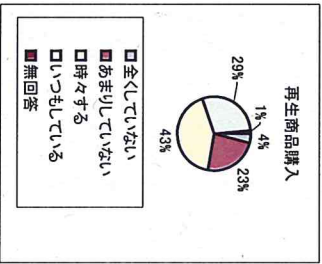
問2 リサイクル意識	
全くしていない	15
あまりしていない	27
時々する	54
いつもしている	302
無回答	3
	401



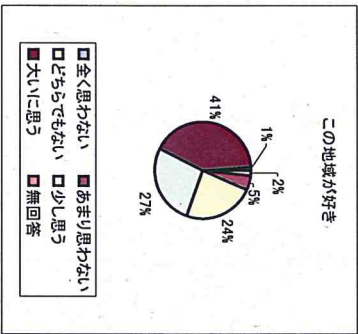
問2 エコバックの使用	
全くしていない	76
あまりしていない	58
時々する	116
いつもしている	140
無回答	11
	401



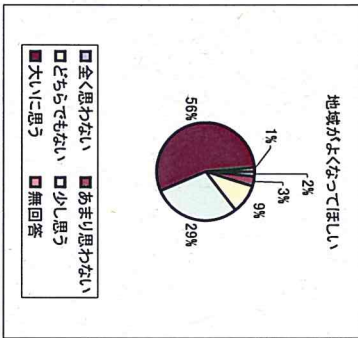
問2 再生商品の購入	
全くしていない	17
あまりしていない	94
時々する	167
いつもしている	117
無回答	6
	401



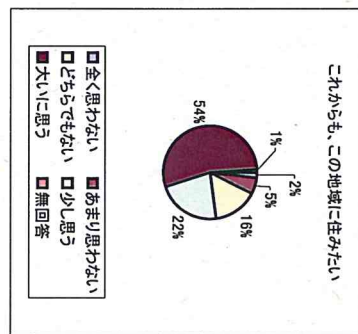
問3 住んでいる地域好き？	
全く思わない	8
あまり思わない	19
どちらでもない	95
少し思う	107
大いに思う	168
無回答	4
	401



問3 地域が良くなってほしい	
全く思わない	7
あまり思わない	13
どちらでもない	38
少し思う	117
大いに思う	220
無回答	6
	401

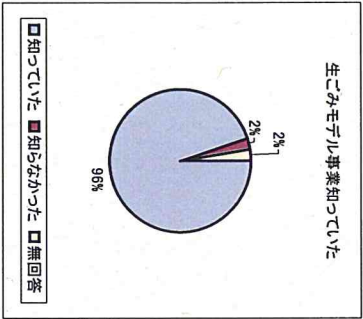


問3 地域に住み続けたい	
全く思わない	8
あまり思わない	22
どちらでもない	63
少し思う	88
大いに思う	216
無回答	4
	401

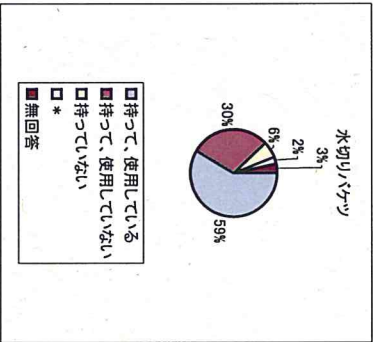


※ 「地域が好き？」では、「大いに思う」「少し思う」が275件で68%を占め、一般的で安定した地域であると思われる。
※ 「地域が良くなってほしい？」では、「少し思う」「大いに思う」が337件で85%を占め、多くの世帯が地域が良くなることに期待している。
※ 「地域に住み続けたい？」では、「少し思う」「大いに思う」が304件で76%を占め、多くの方が住み続けたいと考え、前の2問と合わせて考えると、多くの方が、地域の環境や福祉などの向上に期待感を持っていると言える。

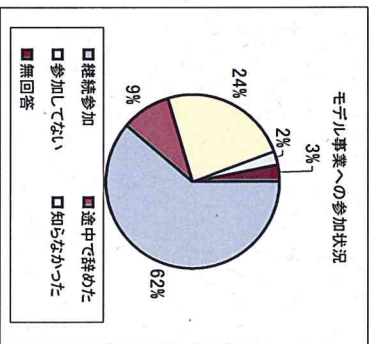
問4 生ごみ分別収集知っていた？	
知っていた	381
知らなかった	10
無回答	10
	401



問5 水切りバケツの所持？	
持って、使用している	234
持って、使用していない	119
持っていない	25
*	10
無回答	13
	401

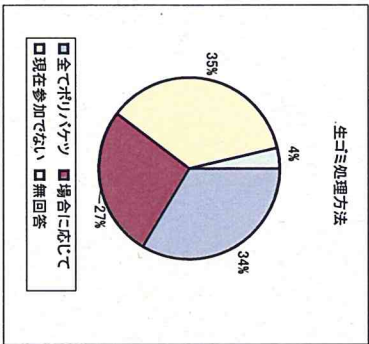


問6 生ごみ分別収集への参加？	
継続参加	245
途中で辞めた	37
参加していない	97
知らなかった	10
無回答	12
	401



- ※ 生ごみ分別収集について、「知らなかった」世帯が10件あった。
- ※ 「水切りバケツを持っていない」という世帯が25件あった。
- ※ 「途中で辞めた」「参加していない」が134件で、33%になる。
- ※ 収集実績では、生ごみの57%を収集したと推測している。
- ※ 事業終了時、約4割の世帯が不参加であったと推測できる。

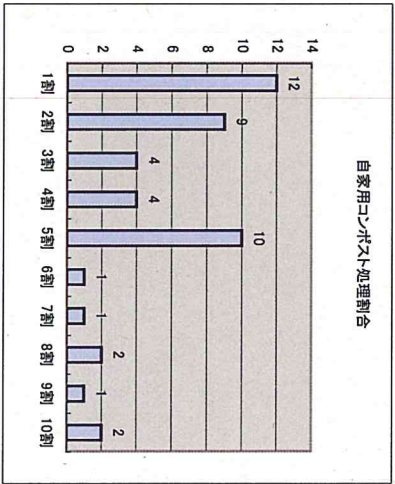
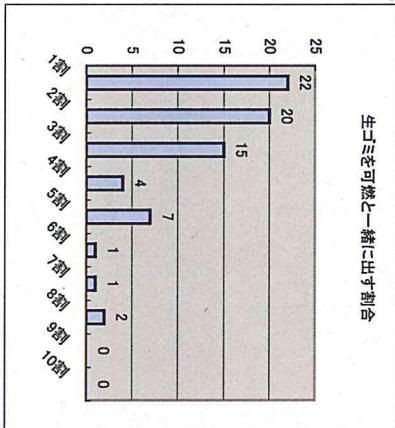
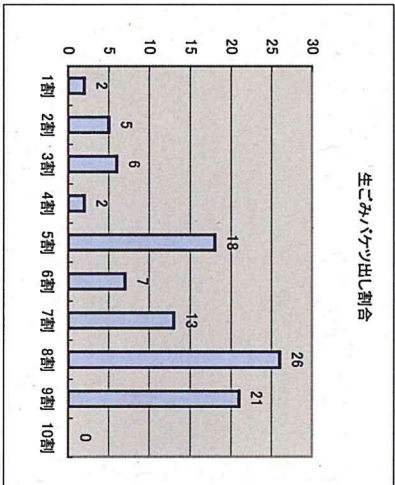
問7 生ごみの処理方法	
全てポリバケツ	135
場合に依じて	107
現在参加でない	144
無回答	15
	401



問7-2 生ごみ分別割合	
1割	2
2割	5
3割	6
4割	2
5割	18
6割	7
7割	13
8割	26
9割	21
10割	0
*	280
無回答	19
全	399
回答件数	100

問7-2可燃への混合割合	
1割	22
2割	20
3割	15
4割	4
5割	7
6割	1
7割	1
8割	2
9割	0
10割	0
*	280
無回答	24
全	376
回答件数	72

問7-2自宅コンポストへの割合	
1割	12
2割	9
3割	4
4割	4
5割	10
6割	1
7割	1
8割	2
9割	1
10割	2
*	281
無回答	23
全	350
回答件数	46



- ※ 34%の世帯が、生ごみのすべてをステーションバケツに出している。(生ごみ資源化事業の定着層と考えられる。)
- ※ 27%の世帯が、場合に依じて利用しているので、約6割の方は、何らかの形で利用したことになる。
- ※ 場合に依じて生ごみ収集を利用される方についても、その多くを収集バケツに出していることが分かる。
- ※ 可燃と一緒に出され場合についても、その割合は低く、分別の意識は低くないと考えられる。
- ※ 回答者のうち46戸が自家用コンポストを持っており、生ごみ分別の推進には、自家用コンポストの推進をも併用することが効果的であると考えられる。

問8 ステーションへの搬出頻度

毎日	50
週に2・3回	150
週に1回	37
その他	1
*	151
無回答	12
	401

問9 ステーションへの搬出時間帯

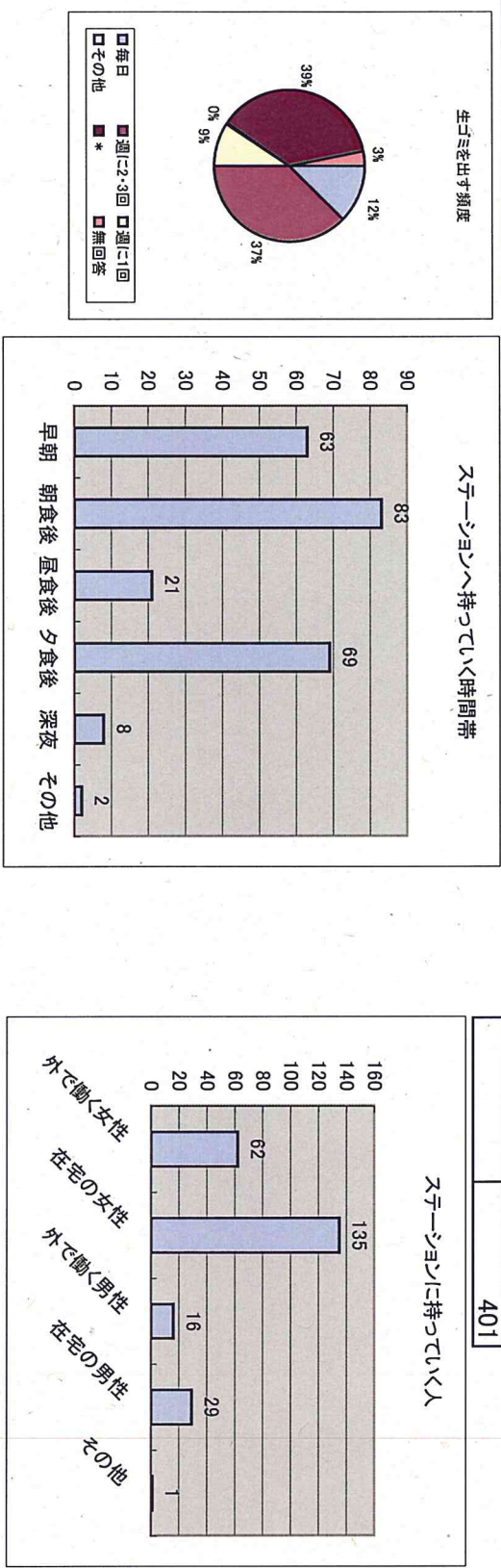
早朝	63
朝食後	83
昼食後	21
夕食後	69
深夜	8
その他	2

問10 ステーションへの搬出者

外で働く女性	62
在宅の女性	135
外で働く男性	16
在宅の男性	29
その他	1
*	146
無回答	12
	401

197 ※女性

243 ※回答者

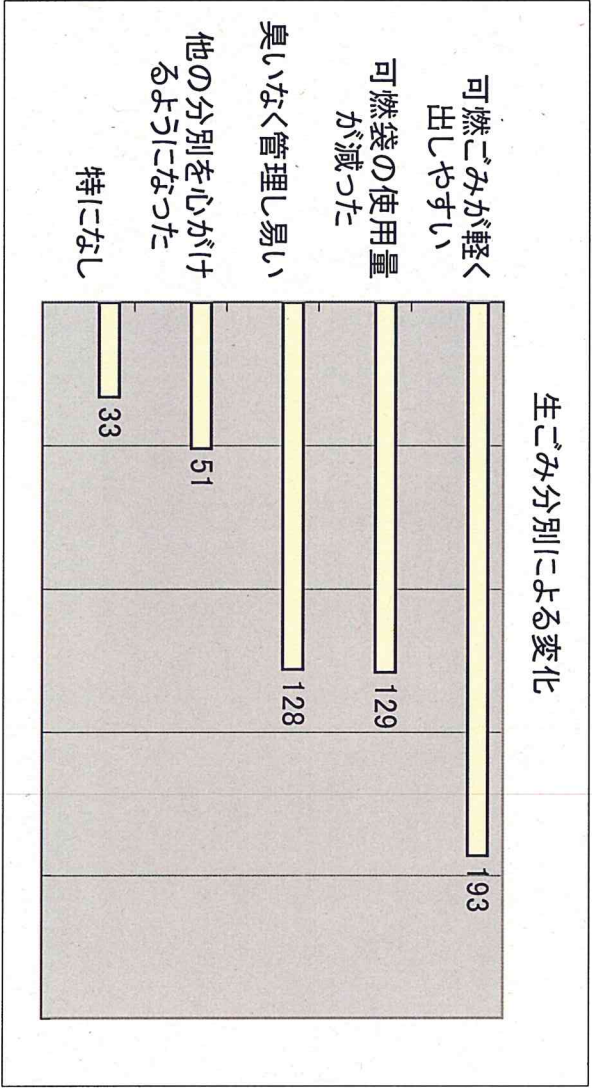


※ 49%の世帯がステーションへは、「毎日出す」「週に2・3回出す」としている。
※ 146件の多くの世帯が早朝及び朝食後に出し、夕食後に出す世帯も69件と少なくない。
※ これらのことから、事業推進には、バケツの常時設置は重要な要素であることが確認できた。
※ ステーションに出す人は、81%(197/243)が女性である。

問11 分別収集のメリット感

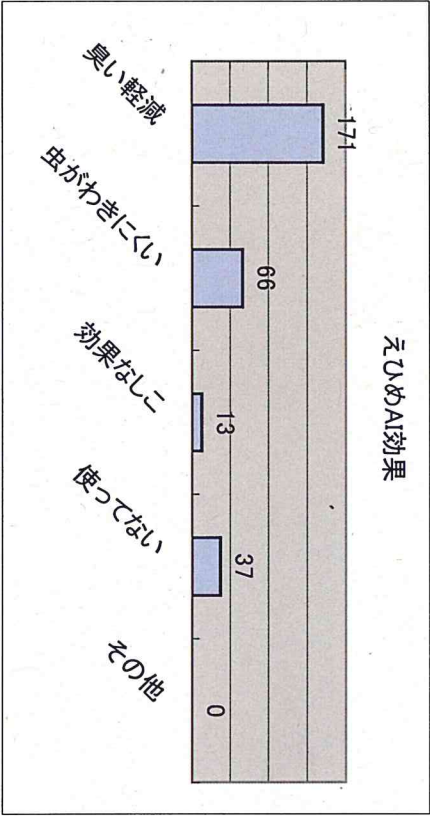
特になし	33
他の分別を心がけ	51
臭いなく管理し易い	128
可燃袋の使用量	129
可燃ごみが軽く	193
その他	0

※ 今回のモデル事業では、家庭における多くのメリットが確認できた。
(右図)



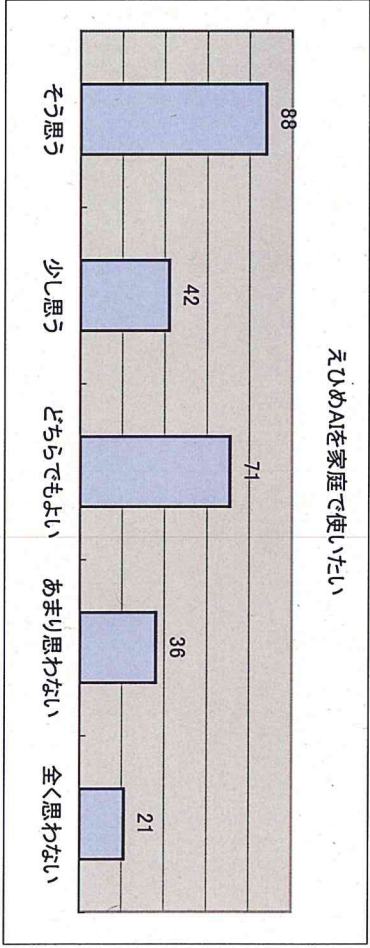
問12 えひめA効果

臭い軽減	171
虫がわきにくい	66
効果なし	13
使ってなし	37
その他	0



問13 えひめAの家庭使用について

そう思う	88
少し思う	42
どちらでもない	71
あまり思わな	36
全く思わない	21
*	107
無回答	36
	401



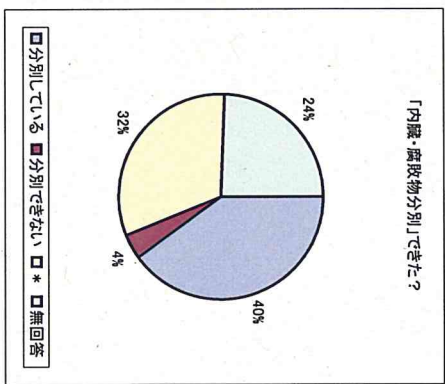
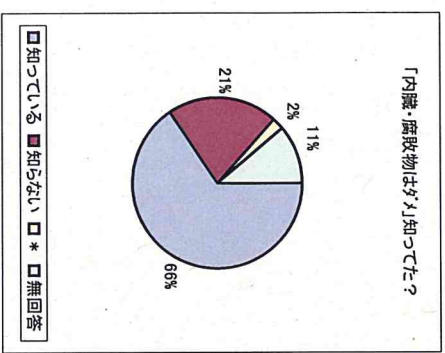
※ ゴミステーションでの「えひめA」は、高い評価であった。
※ しかし、回答者50%(128/258)は、「自宅では使いたくない」、「使う必要がない」と考えている。

問14 魚介類の内臓と腐敗物に分別知っている	263
知らない	84
*	10
無回答	44
	401

問14 分別している	158
分別できない	15
*	125
無回答	96
	394

問14 魚介類の内臓と腐敗物の分別できましたか？

※ 魚の内臓や腐敗物は、混ぜてはいけなことを知らなかった方が21%おられ、知っているのは66%であった。
※ 魚の内臓や腐敗物については、40%の方しか分別できてなく、徹底及び推進に課題を残す。



問15 分別の負担感	
とても負担	35
少し負担	76
どちらでもない	32
あまり負担でない	115
全く負担でない	99
*	10
無回答	34
	401

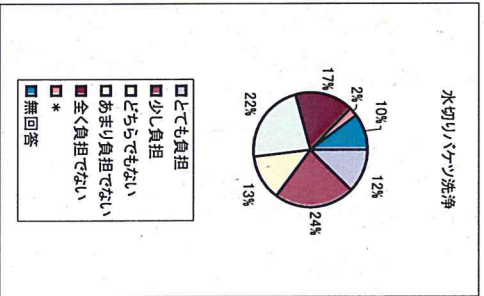
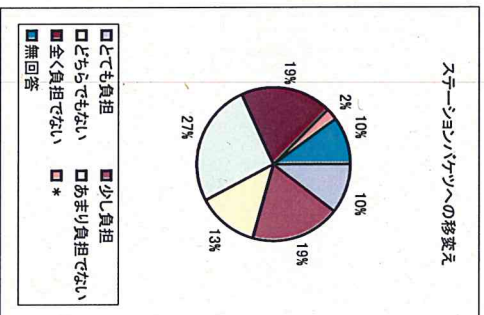
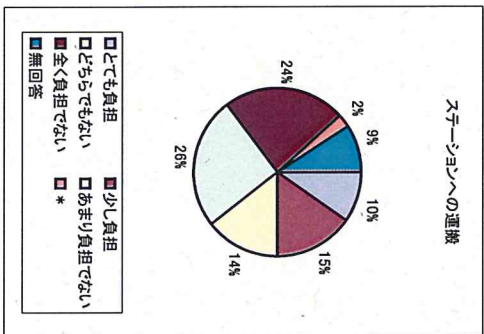
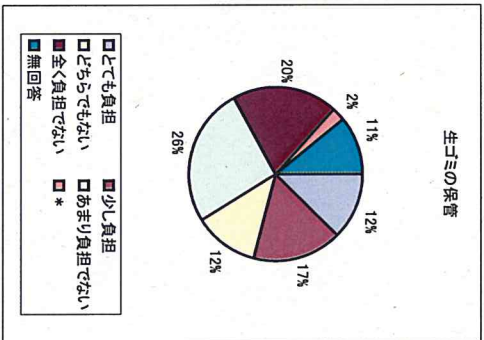
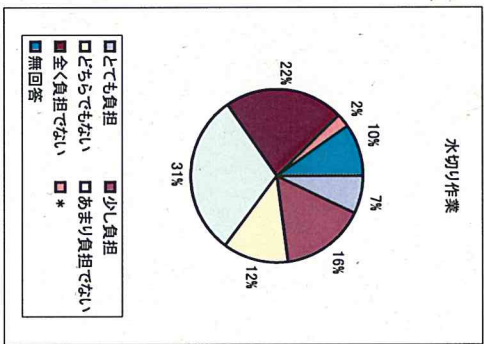
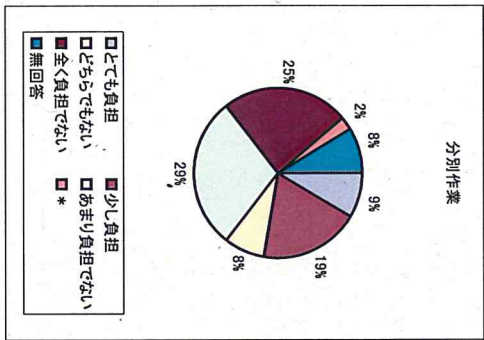
問15 水切りの負担感	
とても負担	29
少し負担	64
どちらでもない	49
あまり負担でない	120
全く負担でない	90
*	10
無回答	39
	401

問15 保管の負担感	
とても負担	50
少し負担	67
どちらでもない	48
あまり負担でない	103
全く負担でない	80
*	10
無回答	43
	401

問15 運搬の負担感	
とても負担	39
少し負担	61
どちらでもない	58
あまり負担でない	101
全く負担でない	95
*	10
無回答	37
	401

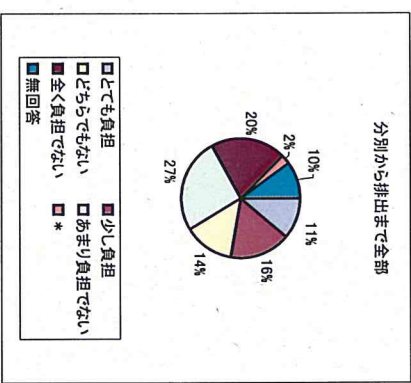
問15 移し変えの負担感	
とても負担	42
少し負担	76
どちらでもない	51
あまり負担でない	104
全く負担でない	78
*	10
無回答	40
	401

問15 洗浄の負担感	
とても負担	50
少し負担	92
どちらでもない	51
あまり負担でない	90
全く負担でない	67
*	10
無回答	41
	401



問15 全体での負担感	
とても負担	45
少し負担	66
どちらでもない	55
あまり負担でない	103
全く負担でない	82
*	10
無回答	40
	401

※ 生ごみの分別から搬出までの全体で負担を感じる方は、45件で11%になる。
※ 各工程別では大差はないが、生ごみの保管と水切り/バケツの洗浄について、若干の負担感があつたようだ。



問16 ステーションについて

問16 おいに不満	
とても不満	19
少し不満	50
どちらでもない	82
あまり負担でない	94
全く不満でない	104
*	10
無回答	42
	401

問16 清潔さに不満

とても不満	14
少し不満	34
どちらでもない	89
あまり負担でない	98
全く不満でない	113
*	10
無回答	43
	401

問16 回収数に不満

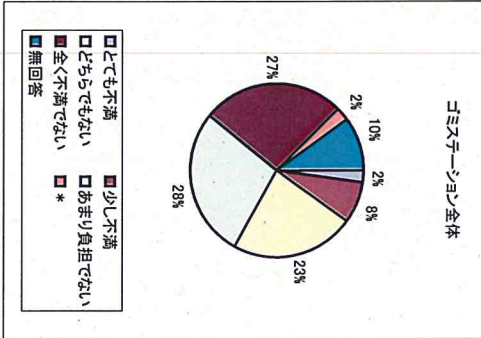
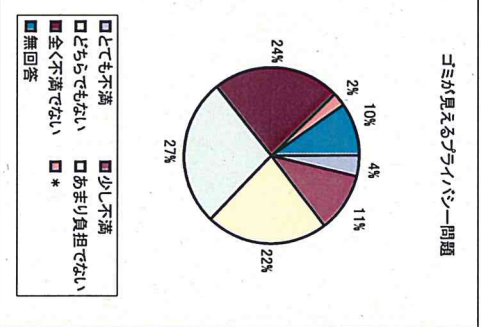
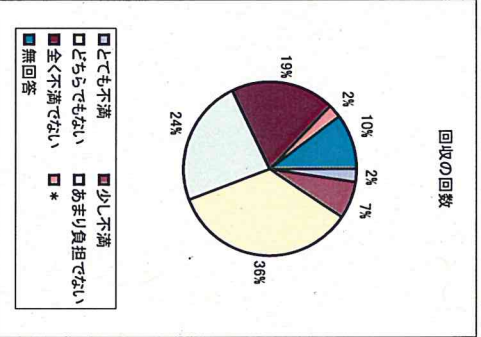
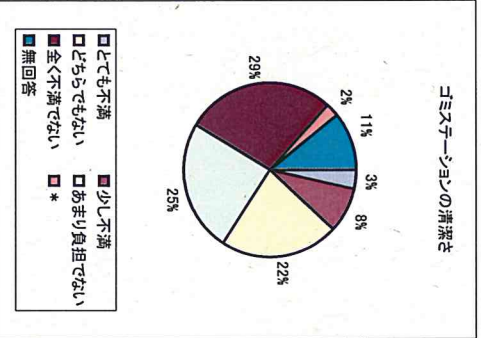
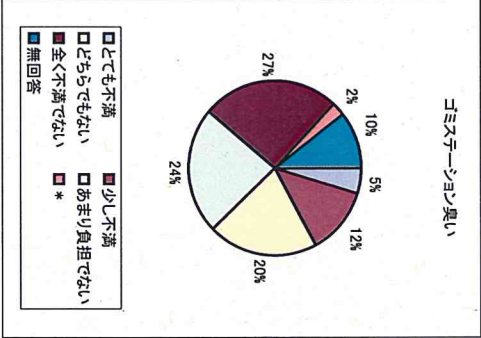
とても不満	10
少し不満	28
どちらでもない	139
あまり負担でない	95
全く不満でない	78
*	10
無回答	41
	401

問16 プライバシー保護に不満

とても不満	16
少し不満	43
どちらでもない	90
あまり負担でない	108
全く不満でない	95
*	10
無回答	39
	401

問16 全体に不満

とても不満	9
少し不満	31
どちらでもない	93
あまり負担でない	111
全く不満でない	107
*	10
無回答	40
	401

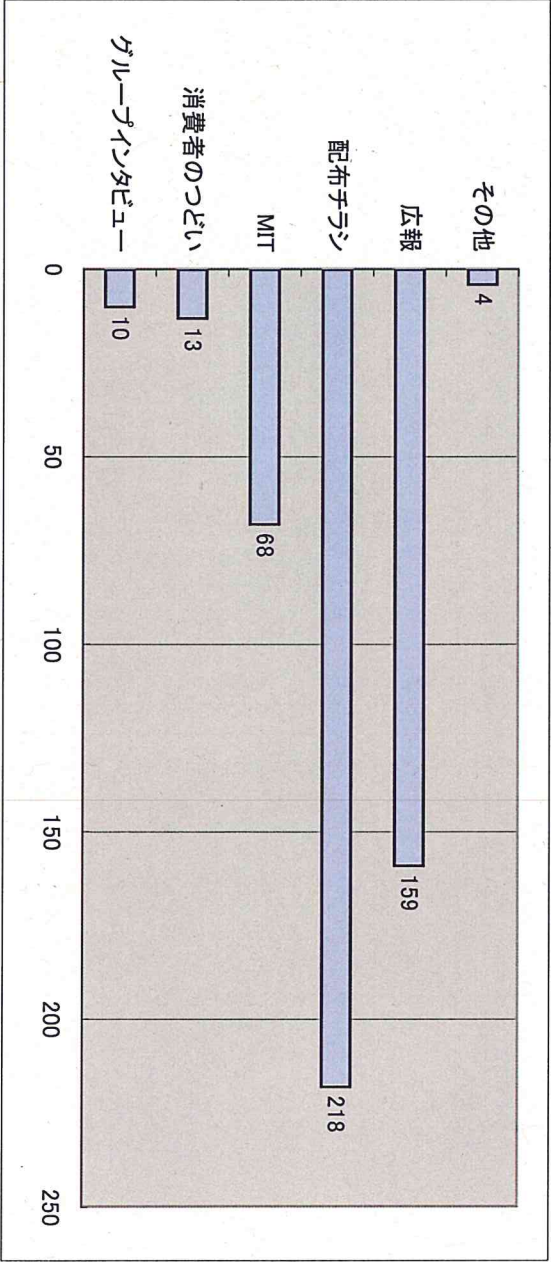


※ ステーションについての不満は、9件で2%程度になる。基本的には不満はないと判断できる。
調査項目の中では、臭いが気になるが、5%程度で少し高い程度である。
今回の蓋付き収集バケツの効果であると考えられる。

問17 生ごみ分別収集の情報入手先

グループインタビュー	10
消費者のつどい	13
MIT	68
配布チラシ	218
広報	159
その他	4

※ 周知については、広報紙への折込チラシが効果的である。
本格実施に当たっても、手法は広く使っていないかなくてはならない。



問18 生ごみ分別収集に賛同？

賛同	220
どちらともいえない	119
反対	18
*	10
無回答	34
	401

問19 生ごみ分別収集への、今後の参加

問19 夏の虫、臭い軽減なら

参加する	227
どちらともいえない	87
参加しない	33
*	10
無回答	44
	401

問19 袋ごと出せるなら

参加する	208
どちらともいえない	87
参加しない	41
*	10
無回答	55
	401

問19 収集場所が近ければ

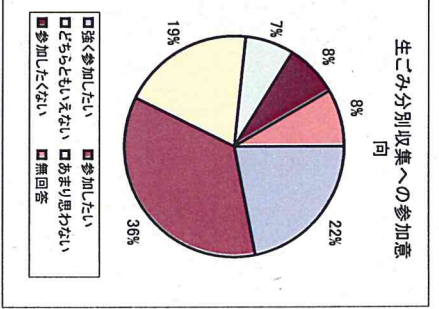
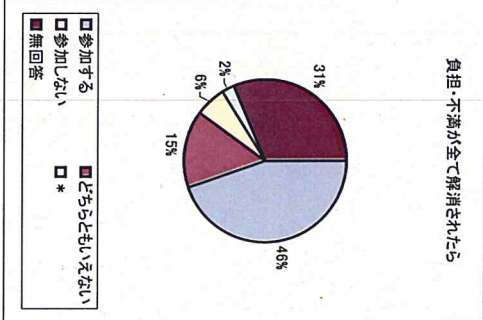
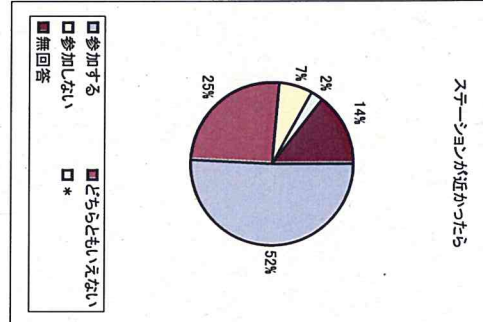
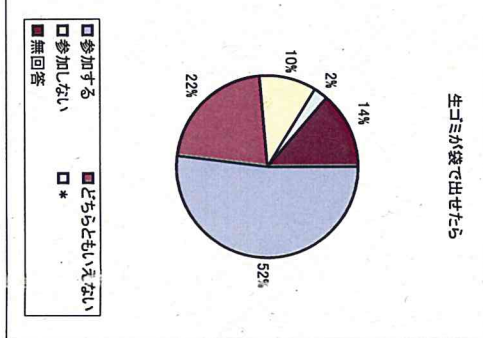
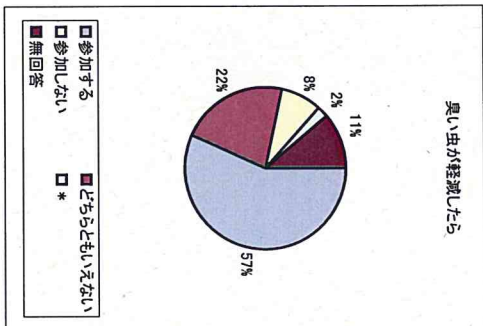
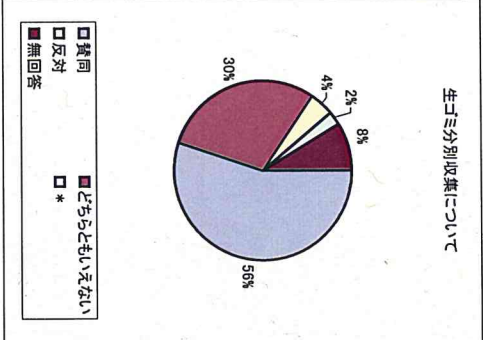
参加する	204
どちらともいえない	102
参加しない	27
*	10
無回答	58
	401

問19 不満が全て解消されれば

参加する	179
どちらともいえない	62
参加しない	24
*	10
無回答	126
	401

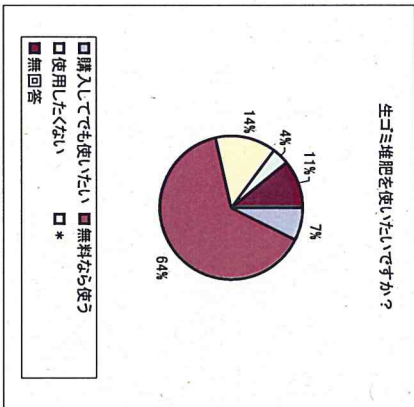
問20 継続的に参加しますか？

強く参加したい	88
参加したい	142
どちらともいえない	77
あまり思わ	29
参加したく	32
無回答	33
	401



問21 生ごみ堆肥を使いますか？

購入しても使いたい	30
無料なら使う	256
使用したくない	56
*	16
無回答	43
	401



- ※ 生ごみ分別収集には、18件の4%が反対であった。220件の56%が賛同であり、30%がどちらでもないという回答であった。
- ※ ごみ分別収集への継続参加については、「あまり思わない」「参加したくない」「無回答」が、94件で約23%になる。
- ※ 「参加したい」が230件で約58%、「どちらでもない」が77件で19%であった。
- ※ まだまだ、生ごみ分別収集のメリット感は広まっていないと言える。
- ※ 家庭的にも、環境的にも、行政の財政面においても、具体的なメリットを示し、住民からの支持をいただくことが重要であり、そのことが反対者の理解を得ることにもなると考える。
- ※ 堆肥については、「購入しても使いたい」が7%であり、堆肥の消費については大きな課題が残る。